

第 4 回 館山市議会定例会会議録

(第 3 号)

1 平成8年12月16日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1 番 辻田 実
3 番 三上 英男
5 番 忍足 利彦
7 番 斉藤 実
9 番 島田 保
11 番 秋山 光章
13 番 脇田 安保
15 番 山崎 雅己
17 番 岩村 勝弘
19 番 川名 正二
21 番 山中金治郎
24 番 福原 勤

2 番 本橋 亮一
4 番 小幡 一宏
6 番 鈴木 順子
8 番 増田 基彦
10 番 宮沢 治海
12 番 植木 馨
14 番 永井 龍平
16 番 鈴木 忠夫
18 番 日下 君敏
20 番 神田 守隆
22 番 榎本 春光
25 番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

23 番 石井 昌治

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 永野 修
総務部長 鈴木 完二
経済環境部長 小沼 晃
水道課長 谷貝 実

助 役 小幡 清之
企画部長 寺嶋 清
市民福祉部長 渡辺 富雄
建設部長 鈴木 信一
教育委員会 会長 高橋 博夫
教 育 教 育

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一
書記 四ノ宮 朗
書記 鈴木 達也

事務局長補佐 鈴木 哲
書記 島本 一樹
書記 松浮 郁夏

1 議事日程(第3号)

平成8年12月16日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第75号 平成8年度館山市一般会計補正予算(第3号)
の専決処分の承認について
議案第76号 平成8年度館山市一般会計補正予算(第4号)
の専決処分の承認について
- 日程第2 { 議案第77号 契約の変更について
議案第78号 館山市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第79号 館山市沼大谷ため池、笠名大関ため池及び広瀬腰越揚水機災害復旧事業分担金徴収条例の制定について
- 日程第3 議案第80号 平成8年度館山市一般会計補正予算(第5号)
- 日程第4 請願第12号 NTT株購入不正の徹底究明と再発防止策を求める請願書

開 議 午前10時03分

◎議長(山中金治郎君) 本日の出席議員数24名、これより第4回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長(山中金治郎君) 日程第1、議案第75号及び議案第76号の各議案を一括して議題といたします。

質疑応答

◎議長(山中金治郎君) これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

20番議員神田さん。

◎20番(神田守隆君) 議案第75号 — 平成8年度館山市一般会計補正予

算（第3号）の専決処分の承認にかかわる議案でございますが、衆議院選挙に係る補正予算の専決処分の承認というこの議案でございますけれども、この補正の中身を見ますと、食糧費として49万2,000円を計上しておりますので、この食糧費に関連をしてお尋ねをいたします。

去る13日の新聞報道によりますと、前東京都知事が、在職中の食糧費の支出について不適正なものがあったとして、その返還に応じるとのことでありました。全国各地の都道府県でこの食糧費の不正使用が市民オンブズマンなどの民間団体により摘発されているのは御存じのとおりであります。こうした中で、館山市の食糧費についてはどうなっているのか、この際御説明をいただきたいと思うのであります。

まず第1点は、食糧費の支出について、どのような考え方で市は予算に計上しておりますか。これまでの質疑の中では、昼食代というふうな考え方は1,000円程度だ、こういう御答弁がされたことがございましたが、そういうことで確認をできるのかどうか。

次に、現在大きな社会的関心になっている接待食糧費、例えば県や国といった補助金などの決定権を握る官庁の職員に対して接待を行っているというふうなことはないのかどうか。館山市ではこの問題についてどのように考え、対応しているのか、お聞かせをいただきたいと思います。

さらに、館山市は、私の知る限りでは、食糧費が予算計上の上で大変少ない市であったと思っているのでありますが、この食糧費の現況について、近隣の市との比較ではどのようなになるのか、御説明をいただきたいと思います。

次に、議案第76号平成8年度館山市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認についてであります。台風17号による災害復旧にかかわる専決処分の承認ということでございますが、今回の水害はこれまでになかった災害であるだけに、今まで十分考えてこなかったいろいろな問題を市政に投げかけたものと思います。そうした問題の一つとして、災害見舞金についてお尋ねいたします。

水害の見舞金の支給対象は床上浸水で、床下浸水の場合は対象外ということであります。床上か、あるいは床下かの判定は、実務的には大変難しい問

題を含んでいると思いますが、今回その支給件数は全体として幾らあったのか。その際、貸し家の場合などは家主に支給されるのか、あるいは借家人に支給されるのか、いずれになるのか。また、災害見舞金という性格上、支給のタイミングというものも大変重要な要素かと思うのでありますが、この支給日についてはどのようなになったか。

次に、現行の見舞金規定は、昭和57年に改定されて以来据え置かれているものと思いますが、見舞金の額については見直しの必要がないのでしょうか。いかがお考えになりますか。

以上、お尋ねいたします。

◎議長（山中金治郎君） 鈴木総務部長。

◎総務部長（鈴木完二君） 議案第75号に関連いたします食糧費の支出の考え方についての御質問でございますけれども、館山市におきましては、必要最小限、社会通年上儀礼の範囲内で支出しております。また、館山市の平成8年度会議用及び接待用食糧費につきましては、近隣市と比較いたしましても、同程度あるいは低いものとなっております。

以上でございます。

◎議長（山中金治郎君） 市民福祉部長。

◎市民福祉部長（渡辺富雄君） 議案第76号に関連します災害見舞金についての御質問でございますが、台風17号に伴う見舞金の支給件数は全体で103件となっております。10月16日以降順次支給いたしました。また、借家につきましては、基本的に大家及び借り主の双方に支給いたしました。見舞金の金額の見直しにつきましては、近隣市町村の状況を踏まえまして、今後検討してまいりたいというふうに考えております。

◎議長（山中金治郎君） 神田さん。

◎20番（神田守隆君） 食糧費についてでありますけれども、必要最小限で儀礼の範囲内ということでありますけれども、この儀礼の範囲というのは大変難しい話で、これまでは1,000円程度という具体的な金額のお示しがあったんですけれども、昼食というふうなことで考えているのはその程度だと。いろんな判例なんかも最近出ているようでありますけれども、具体的には6

,000円だったか、それを超えると儀礼の範囲を超えるという裁判所の考え方なんていうのも示されているようでもありますけれども、館山市としては1,000円という具体的な金額をこれまでも提示しているわけですし、それから——それは昼食ということでもありますけれども、それ以外に、世間で言われているようないわゆる県や国の職員、官庁、補助金の決定権を握っているというふうな——これはそれぞれのところでそういうものを受け取っちゃならぬという指導がされているわけでもありますけれども、館山市としても当然そういうことはしない、県や、あるいは国の、そういう上級官庁の職員に対してこうしたいわゆる接待というものは行わないんだ、こういうふうに確認をしていいのかどうか。儀礼の範囲というようなことだと、ちょっと意味がつかみかねますので、はっきりとしたことをお聞きしたい。

それから、近隣の市と同程度ないしは低いということでもありますけれども、実はこの食糧費というのは各款項目ごとにたくさんそれぞれ計上されているものですから、全体としてどうなのかというのがなかなかつかみにくいところなわけです。それで、現実的に近隣市ということだと、富津あるいは鴨川、こういうところが近隣市ということになるんじゃないかと思いますので、ここと館山市とを具体的に金額で比較して、今年度の当初予算で比較ができれば、あるいはその予算の数字を持っていないとすれば、それに類する昨年の決算なり一昨年の決算なりで、具体的な数字で示していただきたいと思います。

次に、見舞金の規定については、近隣市の状況と比較しながら今後見直しをしていきますということでありました。そこで、この災害見舞金については、災害救助法が適用になった場合には適用除外だというふうに条例上なっているわけです。というのは、災害救助法の方でそれに見合う措置がされるからというふうに理解するんでありますけれども、こうした適用除外になっている法制度のもとではどういうふうになっているのか、それとの比較ではどういうふうにお考えになられるのか、お聞かせいただきたい。

それから、近隣市の状況ということで具体的にお話がありましたけれども、近隣市の具体的な数字を把握されておられるのかどうか。おられるとすれば、

その具体的な金額についてお示しをいただきたいと思います。

◎議長（山中金治郎君） 総務部長。

◎総務部長（鈴木完二君） まず、食糧費に関します第1点目でございます。社会通年上儀礼の範囲とはどういうことかということでございますけれども、まず予算編成上、昼食については、お話しのように単価 1,000円以内として、必要性を十分考慮して計上するようというふうに指針を示しているところでございます。また、夕食等の社会通年上の範囲ということでございますが、これにつきましては、支出の内容あるいは出席者等を考慮いたしまして、通常の範囲内で支出するようというところでございます。そういう判断をしているところでございます。

また、近隣市との比較でございます。具体的に富津市、鴨川市との比較でございますけれども、館山市の場合、平成8年度の食糧費は 780万 7,000円を計上しているところでございますが、具体的な数字については控えさせていただきますが、富津市は館山市とほぼ同程度、鴨川市につきましては、館山市は鴨川市の約6割程度の予算ということになっております。

以上でございます。

◎議長（山中金治郎君） 市民福祉部長。

◎市民福祉部長（渡辺富雄君） まず、県下の状況ということからお答えいたしますけれども、県下の状況 — 金額はまちまちでございますけれども、大体5万円前後の状況になっております。

それから、市の条例の中に規定されております制限の中の千葉県の市町村災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付条例、この対象になった場合にはそちらの方から支給するということですので、重複を避けるという意味で制限をしているわけでございます。

以上です。

◎議長（山中金治郎君） 神田さん。

◎20番（神田守隆君） 言葉遣いがよくわからなかったんですけれども、館山市が鴨川市の6割程度ということだと、逆算すると1,200万ぐらい、鴨川市がそんなぐらいかなということで、それに比べて館山市は低いという、

こういう理解でいいかなと思いますけれども、そういうことかどうか。

それと、これは実際はあるんですか。県や国の職員を夕食で接待をする、通常の範囲というようなことでありますけれども、現在こういうことはしてはならぬというようなことになっているのではないかと思うんですけれども、市が県あるいは国の職員の接待というような形で食糧費から支出をするということは認められないことではないかと思うんですが、その辺については御確認をいただけないかどうかということです。

それから、見舞金のことなんですけれども、私の質問はちょっと違うことを聞いていたんですけれども、千葉県総合事務組合から支給されますよ、そういうケースの場合には館山市の見舞金の適用はありません、二重にならないように、そういう制度になっているのは承知しているわけです。それは当然のことなんです。そういう場合に、それでは――災害救助法の場合と、それから千葉県総合事務組合からの見舞金、それぞれが適用になっている場合は市の条例での見舞金支給はないということは、それはそれとしてわかるんですけれども、それではそういう制度のもとでは見舞金は幾ら支給されていて、館山市のものとの間の比較ではどうなのかということを聞いているので、その辺についてのお答えがなかったわけです。質問の意味はそういうところなんですけれども、わかりませんか。

◎議長（山中金治郎君） 総務部長。

◎総務部長（鈴木完二君） 食糧費の第1点目でございますが、鴨川市との比較、大変下手な説明で申しわけございませんでした。神田議員おっしゃるとおりでございます。

それから、国、県あるいは他の地方公共団体との昼食あるいは夕食についてでございますけれども、館山市の地理的条件あるいは職務の内容等を考慮いたしますと、場合によっては夕食等を出さざるを得ない、そういうような場合もございますので、出しているところでございます。

以上でございます。

◎議長（山中金治郎君） 市民福祉部長。

◎市民福祉部長（渡辺富雄君） 大変失礼しました。先ほど災害救助法の関

連をお答えしなかったわけでございますけれども、この災害救助法に合わせて、または県の総合事務組合、その条例の適用になるわけですが、その金額につきましては、今手元に資料がございません。実際にこの両方の適用になった場合には、状況をどう把握するか、それによって金額が決定してまいらと思いますけれども、その実態——今まではそういった適用はなかったわけですが——今手元に資料が届きました。申し上げます。

災害援護資金として、貸し付けの関係がございます。それによりますと、家財の3分の1以上の被害が150万、家屋の半壊が170万、全壊が250万、こういった貸し付けの援護資金という取り扱いになっております。それから、災害弔慰金の関係でございますけれども、弔慰金は、死亡された場合には、生計維持者に対しまして500万円、その他の死亡に対しましては250万。それから、負傷関係も見舞金がございます。そういった状況になっております。

以上です。

◎議長（山中金治郎君） ほかに御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（山中金治郎君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（山中金治郎君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（山中金治郎君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は承認することに決しました。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第2、議案第77号乃至議案第79号の各議案を一括して議題といたします。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） これより質疑を行います。

通告はありませんでした。御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（山中金治郎君） ただいま議題となっております議案第77号乃至議案第79号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

議案の上程

◎議長（山中金治郎君） 日程第3、議案第80号平成8年度館山市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

質 疑 応 答

◎議長（山中金治郎君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

20番議員神田守隆さん。御登壇願います。

(20番議員神田守隆君登壇)

◎20番(神田守隆君) 議案第80号平成8年度館山市一般会計補正予算(第5号)についてお尋ねをいたします。

衛生費の補正として112万4,000円が計上されているわけですが、この衛生費に関連してお尋ねをいたします。先日、全員協議会で安房医師会新病院についての御説明があり、かなり話が進んできたなという印象を持ちました。しかし、同時にかなりの公的負担を求められることになることもわかりました。現在、市民の意見としては、救急医療の充実等、医療体制の整備を求める声は切実なものがあります。と同時に、余り過大な負担は困るという相反した意見も現実にあるところでもあります。そこで、今大切なことは、民間病院である安房医師会新病院の果たす地域医療における公的な意義がどういふものなのかをしっかりと確認をし、市が公的な負担をする論拠ともいふべきことをはっきりとさせることではないでしょうか。その上でこそ、初めて市民合意が得られることになると思うのでありますが、この点についていかがお考えでありますか。また、そうしたことを考える上で、現在の医師会病院の建設に際しても、その建設に当たって館山市は公的な負担をしていると思うのでありますが、そのときはどのような考え方のもとに負担をしているのでありましょか、御説明をいただきたいと思います。

次に、教育費に2,635万2,000円の補正が計上されているわけですが、この教育費に関連をしてお尋ねをいたします。市は社会教育費の中で青少年健全育成にかかわる事業に支出をしているわけですが、今回こうした市の事業に全く反する本当に残念な事件が連続して発生しました。いわゆるテレクラにかかわる事件であります。この問題は全県的な問題として、既に9月県議会で青少年健全育成条例の一部改正が成立し、来年1月1日より一定の規制措置が実施されると伺っているところであります。この青少年健全育成の県条例では市町村の協力義務がうたわれているのでありますが、この改正条例が施行されるにもかかわらず、全く何の補正予算の計上もありませんでしたが、市はこの問題についてどのように対処していこうとするも

のなのでありましょうか。新聞で報道されたような事件が連続しただけに、館山市自身のこの問題に対する姿勢が問われているのではないのでしょうか。県条例の改正内容と、それに対する市の対応について御説明をいただきたいと思うのであります。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（山中金治郎君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

議案第80号に関連いたします第1点目、安房医師会新病院に関します御質問でございますが、安房医師会より建設計画が公表されております新病院は、救急医療体制を備えた地域中核病院として整備を図るもので、内容は24時間救急医療体制及び開放型病院並びに住民検診事業の拠点施設としております。また、館山市が助成することにつきましては、公的病院に準じた病院として助成するものでございます。新病院所在地が館山市であること並びに安房医師会病院の行う住民検診及び入院、外来、救急の市民の利用状況等を勘案しようとするものでございます。

次に、現在の安房医師会病院についての御質問でございますが、昭和39年に共同利用病院及び住民検診事業等を目的として開設されたものでございます。

以上でございます。次の議案第80号に関連します第2点目につきましては、教育長より御答弁申し上げます。

◎議長（山中金治郎君） 高橋教育長。

（教育長高橋博夫君登壇）

◎教育長（高橋博夫君） 議案第80号に関連します第2点目、千葉県青少年健全育成条例についての御質問でございますが、このたび、18歳未満の青少年を有害な環境から守るため、千葉県青少年健全育成条例の一部が改正され、平成9年1月1日から施行されます。改正の内容といたしましては、テレホンクラブ等の営業規制、卑わいなチラシの一般住宅への配布禁止等の規定を設けるとともに、罰則を強化したことが主なものでございます。館山市とい

たしましては、今回の改正の趣旨を踏まえ、関係機関と連絡をとりながら研修会等を開催し、青少年の健全育成に努めてまいりたいと考えております。

以上です。

◎議長（山中金治郎君） 神田さん。

◎20番（神田守隆君） 安房医師会病院でありますけれども、もともとの医師会病院自身は民間病院という——法的にはなろうかと思うんですが、そうした中に公的な役割——公的病院に準じてというお話で、この準じてということと相まって公的な負担の問題ということが出てくるわけですから、これをどういうふうを考えるのかというのは大変重要なポイントになるし、そこについてやはり住民合意ということをつくっていく上では大変重要なポイントじゃないかなと思います。

そうした点から、昭和39年に現在の安房医師会病院が建設されるに当たって、共同利用病院——これはそれぞれのお医者さんの共同利用というようなことが中心であろうと思いますから、必ずしも公的なものといふとちょっと違うのかなと思うんですが、住民検診の拠点としていくというふうな趣旨がうたわれ、いわば予防医療といいますか、こういうことが当時うたわれていた。昭和39年という時点でこの住民検診事業というのは、この時点で考えれば、大変先進的なといいますか、いわば今で言えば先見の明があるといいますか、そういうような内容の事業であったなという気がするわけなんですけれども、そういう上で、当時の建設費、病院の建設費全体の中で市が公的に負担したのはどういう金額で、全体に対して幾ら負担をしてきたのか、それは当時どのような市としての基準なり考え方のもとで出されたものなのか、それについておわかりでありましたら御説明いただきたいと思います。それは今議論している病院に対する公的な負担の上でも大変重要な——いわば現実にやったことでありますから、大変重要な示唆を与える点もあるんじゃないかと思いますので、お示しをいただきたい。

次に、テレクラ云々という青少年健全育成条例の問題でありますけれども、市の協力義務ということがうたわれているわけですが、条例上、市としてはこの協力義務という場合に具体的に何をやるんだということになろう

かと思うんですが、今のお話ですと、研修会を開くというお話がありました。この協力義務という内容をそういうものとして受けとめているということだけなのかなという気がするんですけども、大変市民の関心も強い、特にPTAの関係者の方々にとっては非常に衝撃的な事件としてこの事件は起きただけに、やはりこの点については教育委員会がどういう姿勢できちんと——こういう時期だからこそ姿勢を示していくということが大変大事だろうというふうに思いますので、その辺もう少し——この研修会というのは具体的にどういう内容で考えられているのか、また今後さらにどういうことを考えようとしているのか、お考えがあったら御説明いただきたいと思います。

◎議長（山中金治郎君） 市民福祉部長。

◎市民福祉部長（渡辺富雄君） 病院に関連します質問でございますけれども、まず1点目の昭和39年建設当時の館山市の負担金でございますけれども、建設費1億2,500万円のうち、館山市は1,000万円の負担をいたしております。

それから、当時の負担の基準といえますか、そういった御質問でございますけれども、基本的には現在の経営とほとんど変わっておりません。当時は共同利用病院という名称を使っておりましたけれども、これはその後に名称が変わりまして、開放型病院という名称に変わったわけですが、基本的には公的病院に準ずるものというとらえ方で見ております。

以上です。

◎議長（山中金治郎君） 教育長。

◎教育長（高橋博夫君） 直接的なことについての御質問でございますけれども、現在館山市におきましては、それらの問題を検討する——いわゆる青少年健全育成に伴うものでございますけれども、2つの会議を設定して——協議会というような形で会議を設定しております。その1つが青少年健全育成会議でございます。この件につきましては、それぞれの——議員さん方の代表も出ていただいて、市民各層から御出席をいただき、問題提起、研修を通じて御意見を伺い、施策の上に反映しているところでございます。いま一点は、青少年健全育成の市民会議でございます。この市民会議というの

は、直接児童及びその環境等を浄化するような活動家、いわゆる青少年相談員とか各種団体の長の方々が――その方々を通じまして各下部組織へとその具体的な運動を進めている会議でございますので、その会議を持ちまして、両方の面から市民各層へと広げていくという働きをしたり、また問題を検討していただくということをしております。

次に、直接的なことにつきましては、学校を通じまして、何といたしまして指導に当たる職員の啓蒙と、それから理解と、そして実践というようなことになってくるわけでございますけれども、これは常時活動におきまして私どもが検討し、そして指導をしているところでございます。また、その学校を通じた問題といたしまして、ただいまお話のありましたPTA等の関係がございまして、その場を通じて、私どもはまた学校の中でいろいろ検討してもらい、直接的な地域の課題に取り組んでいただいているということでございます。

さらに、PTAの組織ではございますけれども、PTA連絡協議会が館山市にはございますので、その方々を中心にしながら検討をし、研究をしていることが2つございます。1つは、私どもまたは県とともに設定いたしました会議日程または次第名による研修の場、2つ目は、自主的にPTAの方々が現在活動している会議がございまして。さらに、それらを直接的に、もっと部分的にいたしましたのが――中学校の会長さん方が中心になりまして学校長とともに検討を進めていく、現段階はそのところは今進めようとしている段階でございまして、できるだけ正しい情報と、それから子供たちの環境が悪化しないようにそれを防止したり、私どもがいわゆる現在の情報の中での確な処理能力を持つような方向にしていくように今後とも働きかけをしたい、こう考えております。

以上です。

◎議長（山中金治郎君）　以上で20番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑あり

ませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎議長（山中金治郎君）　ただいま議題となっております議案第80号は、お手元に配付の議案付託表により、所管の常任委員会に付託いたします。

請願書の上程

◎議長（山中金治郎君）　日程第4、請願第12号N T T株購入不正の徹底究明と再発防止策を求める請願書を議題といたします。

委員会付託

◎議長（山中金治郎君）　ただいま議題となりました請願は、お手元に配付の請願付託表のとおり、所管の委員会に付託いたします。

議長の報告

◎議長（山中金治郎君）　なお、この際申し上げます。

12月6日の議会運営委員会までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり、所管の常任委員会に送付いたしましたので、報告をいたします。

（「議長」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君）　はい。

◎18番（日下君敏君）　請願第12号の内容ではなくて、付託の取り扱い方について議長ないし議運委員長の御意見をお聞きしたいんですが、この場でいいですか。

◎議長（山中金治郎君）　この件につきましては、後ほど説明するというところでどうですか、議員さんに。

◎18番（日下君敏君）　どこで。

◎議長（山中金治郎君）　終了後、議長室で御説明申し上げます。

◎18番（日下君敏君）　私は、請願が1本であるにもかかわらず、これを2委員会に分けたということをお聞きしたいんですが、というのは、こうい

う先例があるかどうか、今まで。請願が出てきて、1本の請願が2本にそれぞれ分かれて付託されるという先例があるかどうか、その辺をちょっとお聞きしたいんですが、今後の取り扱い——議案ならわかるんですが、1本の請願を2つに分けられると、私は総務委員会の委員長として、とりあえず取り扱い方をどうしていいかわかりませんものですからその辺をお聞きしたんですが、それも終了後でございますか。

◎議長（山中金治郎君） このことにつきましては、議会運営委員会でこういうふうなことで決定をいたしてございましたので……

◎18番（日下君敏君） ですから議長ないし議連委員長にお聞きしたいんです、こういう取り扱い方をしたという理由を。あれなら後でいいです。ただ、議事録にとどめておいてください。

◎議長（山中金治郎君） この件につきましては、終了後に説明をさせていただきます。

◎18番（日下君敏君） 結構です。

延 会 午前10時40分

◎議長（山中金治郎君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（山中金治郎君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明17日から19日までは委員会審査のため休会、次会は12月20日午前10時開会とし、その議事は、議案第77号乃至議案第80号にかかわる各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議いたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは12月20日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第75号乃至議案第80号

1 請願第12号